

音声AIとデジタルマップを活用した飯坂次世代観光案内所モデル事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 飯坂温泉は、飯坂けんか祭り等の祭事や、さくらんぼや桃、ぶどうなどの果物狩りが四季を通じて楽しめる、東北を代表する温泉地の一つであり、インバウンドや素泊まり客等、多様な旅行者に親しまれている地域である。
- ・ 観光案内所では、IT機器の浸透が進まず、案内が個人の経験に依存している。地域情報も年1回更新の紙マップに限られ、繁忙期には案内業務が集中して現場の負担が増大するため、旅行者ニーズの蓄積や分散誘導が十分にできていない状況にある。
- ・ 本事業では、生成AIによる多言語案内と相談ログの自動構造化を実装し、デジタルマップで店舗情報やクーポンを即時更新することで、案内所から地域内店舗への分散誘導と、旅行者ニーズの蓄積・活用を同時に実現する。
- ・ 旅行者の相談内容を地域資産として蓄積・活用し、案内業務の負担を抑えながら、地域全体の回遊促進と消費拡大を実現する、次世代型の観光案内モデルの確立を目指す。

事業概要

飯坂温泉地域において、生成AIとデジタルツールを組み合わせた「飯坂モデルの次世代ハイブリッド観光案内所」を構築する。音声案内、デジタルマップ、データ可視化を連携させ、旅行者の相談内容を地域資産として蓄積しながら、案内所から地域内店舗への送客と分散誘導を進める。将来的には「食めぐり・湯めぐり」等の地域オールインクルーシブ施策とも接続し、自走可能な観光地域づくりを目指す。

取組地域：福島県福島市飯坂温泉地域

コンソーシアム名：飯坂温泉・次世代観光DX推進コンソーシアム

代表事業者：飯坂温泉観光協会

実証内容

1. 生成AIを活用した回答とナレッジ蓄積の仕組みづくり
2. デジタルマップを活用した地域情報の発信
3. 相談ログ、送客・消費実績、口コミデータ等の分析・可視化並びに事業者へのフィードバック

目標値

KGI クーポン/チラシ利用による送客の消費額(1,440,000円)

KPI 店舗への送客数(960人)

